

宇都宮市 地域福祉計画

「市民一人ひとりが
住み慣れた地域や家庭で
自立した心豊かな生活が送れるよう
市民や団体などが福祉活動に取り組み
ともに支えあう地域社会」を目指して

平成 16 年 3 月

宇 都 宮 市

はじめに

今、地域社会においては、家庭の養育機能の低下や地域の相互扶助体制の弱体化、住民同士のつながりの希薄化などに伴い、高齢者の孤独死や幼児虐待、ひきこもりなどが、新たな地域の課題となっています。

一方、市町村においては福祉施策の重要性が一層高まり、多様な取り組みが図られております。また、ボランティアやNPOなどの福祉活動が活発化し、地域住民による自主的な社会福祉の推進の動きも盛んになってきています。

このような状況に的確に対応するため、平成15年4月に社会福祉法の「市町村地域福祉計画」の策定が施行されるなど、今後、地域社会において多様な生活課題の解決に向けて、地域住民・事業者・行政との協働による取り組みがますます重要となってきております。

本市におきましては、宇都宮市社会福祉審議会をはじめ、多くの市民の皆様から貴重なご意見・ご提言をいただきながら、住民が、普段の暮らしを安心して充実したものとして送ることができる地域社会を目指し、「宇都宮市地域福祉計画」を策定いたしました。

この計画は、本市の福祉都市宣言である「宇都宮市は赤ちゃんからお年寄りハンディキャップを持った人々などすべての市民が笑顔でことばを交わし健康でいきいきと暮らせる心のふれあう福祉のまちをつくります」を基本理念に定め、「住み慣れた地域において安心して充実した生活を送るための地域福祉の推進」、「身近な地域社会を暮らしやすいものにするためのネットワークづくりの推進」、「地域住民が参加する地域福祉の推進」の3つを基本目標に掲げ、策定したものであります。

計画の推進にあたりましては、行政はもとより、市民の皆様や関係団体などこれまで以上に協働を図り、各種施策・事業が効果的に展開されるよう取り組んでまいります。

結びに、市民の皆様の深いご理解と積極的なご参加、ご協力をお願いするとともに、計画の策定にあたり、ご意見・ご提言いただいた多くの市民の皆様にご心から厚くお礼申し上げます。

平成16年3月

宇都宮市長 福田 富一

目 次

第1章 計画の概要

1 計画策定の背景及び必要性	1
2 計画策定の趣旨	1
3 計画の位置付け	2
4 計画の性格	3
5 計画期間	4

第2章 地域福祉を取り巻く環境の動向と課題

1 社会環境の変化	5
2 地域福祉の現状と課題	6
(1) 現 状	6
(ア) 年齢3区分の人口の推移	6
(イ) 高齢者世帯数・母子世帯数などの推移	7
(ウ) 障害者数の推移	8
(2) 課 題	10
3 アンケート調査に基づく地域福祉の現状と課題	11
4 地域別意見交換会による本市の地域福祉の現状と課題	12
5 課題の総括	14

第3章 計画の基本的な考え方

1 基本理念	19
2 将来像	19
3 基本目標	20
4 施策の体系	21

第4章 施策・事業の推進

重点事業設定の考え方	29
安心して充実した生活を送るための地域福祉の推進	30
1 福祉サービスの適正な利用の促進	30
2 相談・支援体制の充実	33

3	地域における情報提供の充実	36
4	福祉におけるマンパワーの確保	38
5	福祉サービスの充実	40
6	こころのバリアフリーの推進	45
7	地域における快適な生活環境の実現	47
	身近な地域を暮らしやすいものにするためのネットワークづくりの推進	49
1	地域における総合的なネットワーク体制の構築	49
2	地域における総合的なネットワーク体制を支える団体等の充実・強化	53
	住民が参加する地域福祉の推進	55
1	社会参画の促進	55
2	生きがいづくりの推進	58
3	福祉教育の推進	60

第5章 計画の推進に向けて

1	住民・事業者・行政の協働による計画の推進	63
2	計画の公表	65
3	計画の推進体制	65
4	関係各種計画との連携	65
5	庁内関連部局との連携	65
6	関係機関・団体との連携	66

資料編

1	宇都宮市地域福祉計画策定体制	67
2	宇都宮市社会福祉審議会・地域福祉専門分科会委員名簿	72
3	社会福祉審議会からの提言書	75
4	宇都宮市地域福祉計画策定経過	80
5	地域別意見交換会における地域別の課題等	82
6	住民による自主的な地域福祉活動の紹介	89
7	アンケート調査の内容	94
8	用語解説	109